



発行責任者：歯学部長 宮崎 隆，編集責任者：広報委員長 佐藤裕二  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL 03-3784-8000  
ホームページ：<http://www.showa-u.ac.jp>

## 巻頭言 小児歯科

小児成育歯科学教授 佐々龍二

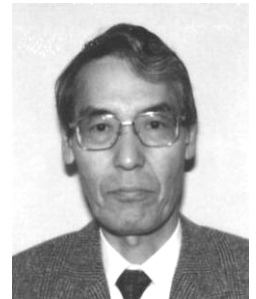
皆さん、こんにちは。

私は歯学部卒業以来、一貫して小児歯科学教室に籍を置き、0歳から15,6歳までの多くの小児を診てきました。現在は小児の虫歯は減少傾向にあります。昭和40年代から50年代にかけて小児の虫歯が蔓延、私の所属している学会でも「小児の虫歯の洪水の対処」というシンポジウムが開催された程でした。

当時の3歳児の虫歯の罹患率は約90%、すなわち100人の内90人は虫歯に罹っている状態でしたが、それから約30年経った今、3歳児の罹患率は約40%に、これは行政関係の啓蒙活動、小児歯科医の努力、また保育者の認識の高揚の結果であると思っております。

虫歯は少なくなりましたが、我々の目的は虫歯の治療だけではありません。小児という成長発達途上の生体が、肉体的にも精神的にも健全に育ち、将来の日本を立派に構築し、日本の発展に益々寄与することを願って日夜診療に励んでおります。そんな意味から本教室も本年4月より小児成育歯科学教室と改称しました。

お子さんのお口に悩み事がありましたら、どうぞ御遠慮なく御来院下さい。お待ちしております。



## 報道された歯学部

広報委員長 佐藤裕二

- 川和忠治病院長 NHKラジオ「くらしの電話相談」, 13:50から(7/13, 8/30, 10/12, 11/30, 1/27, 2/28)  
<http://www.nhk.or.jp/radiodir/hot/denwa.html>
- 道脇幸博助教授 フジテレビ「<カスペ!>いざ出発!めざましテレビ・むせについて」19:00-20:45(7/6)  
「石坂浩二もビックリ むせる料理」の部分。[http://www.fujitv.co.jp/b\\_hp/kaspe](http://www.fujitv.co.jp/b_hp/kaspe)
- 南雲正男教授 タ刊フジ 7月7日 口腔カンジダについて

## 接遇講座 (6月30日18:00 - 臨床講堂)

看護部教育委員会主催

従来型の患者対応方法などの型通りのテクニック的なものではなく、ロールプレイを通してそれぞれの立場を考えながら、相手の考えを知る疑似体験や自分を客観的に知ることができた。日常のクレーム等も当事者の対応により回避できるという内容の講演であった。



講師・田口ヤス子先生



超満員の受講者

## 総合診療歯科

総合診療科科長 長谷川篤司

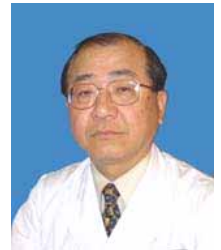
この度、総合診療歯科を担当させていただくこととなりました。

総合診療歯科では成人の一般歯科診療、病院全体の初診係とともに臨床研修の管理・運営を担当いたします。私たちは臨床研修医とともに丁寧な診療を提供するだけでなく、患者様が自分の「お口の健康」に関心をもつていただく”手掛かり”を提供できるように努力してまいります。目下、平成18年度臨床研修の必修化にあわせて、研修プログラムを段階的に調整しております。専門診療科と事務、教務のご理解とご協力を得て、研修医たちが誇りを持てる、充実した研修を実現したいと考えております。



## 新設診療科の紹介

歯科病院長 川和忠治



理事会内に「歯科病院等検討委員会」が発足し、平成15年6月の理事会において平成16年度からの歯科病院診療科再編が決定されました。これに伴って、新設専門診療部門を立ち上げることとなりました。これらの診療については今までも各専門外来で個々に行ってききましたが、病院として専門診療部門を標榜し1箇所診療することにより、ドクター間の意志の疎通による効率の良い医療と患者さんに安心と満足感のある医療を提供できるものと考えています。

5月に4新設専門診療部門（美容歯科、インプラント科、顎関節症科、障害者歯科）の科長候補者について学内公募を行いました。その後、選考委員会で各診療部門1名ずつ候補者を臨床教授会に推薦し、臨床教授会の議を経て、歯学部教授会で下記診療科長4名が承認されました。現在、9月からの開設に向けてそれぞれ準備をしております。新設診療部門を担当して頂く先生は、現診療科の所属とします。また、診療科長は2年間の任期制といたしました。実績によっては、将来、正式な診療科(半講座)への昇格もあり得る、等の条件が付加されています。

## 美容歯科

美容歯科科長 真鍋厚史



この度、新診療科として美容歯科を担当させていただくことになりました。本昭和大歯科病院でも美容あるいは審美という概念で主に補綴、保存系あるいは矯正科などの専門医の先生方によってすでに数多くの症例を手がけているのが現状です。このような実績を生かし、かつ Minimal Intervention という概念を礎に今後は歯質接着性材料を大いに活用した診療を心がける次第です。特にう蝕やハセツ、外傷などで残存している天然歯をコンポジットレジン修復やレジンインレー、セラミックインレーなどで個性的な状態に還元することや変色歯に対する漂白も真の美容または審美診療であると考えております。歯髄やエナメル質を極力保存し結果的に歯質と移行的な修復物を適用させることが侵襲の少ない将来性の高い審美治療の第一歩と認識しております。さらに、矯正、歯周治療やインプラントをすでに専門科によって終了されてきた方がより一層口元を審美的に回復したいといった要望に少しでも協力できたら幸いに思っております。また、治療終了直後の審美性を持続、継続するためのメンテナンスにも重点を置いた診療をする所存であります。金属やモノマーのアレルギーを有する患者さんに対しても昭和大皮膚科との連携により対処しようと思っております。新しい診療科として従来の専門診療科の先生方にご助言を戴き少しでもお力になれることを念頭に診療に専念する次第です。

## インプラント科

インプラント科科長 倉地洋一



この度、歯科病院に新設されるインプラント科の科長を拝命致しました。今日の欠損補綴治療は、もはやインプラント治療というオプションなしに語ることはできません。1988年、歯科病院にインプラント治療が導入されてから15年が経過し、その間に外科、補綴、材料学的にめざましい進歩を遂げ、予知性の高い治療法となっています。現在年間150例以上の症例があり、口腔外科、補綴科、歯周病科がそれぞれの専門分野で治療に携わっておりますが、病院全体としてのチームアプローチは必ずしも十分とはいえません。患者様の期待も大きく、それに応える高度な技術、医療理論が求められており、インプラント科設立を機会に、各専門分野の先生方の連携のもとに、患者様が求める口腔機能の回復に寄与する所存であります。また、歯科病院は城南地区の歯科医療のセンターとして重要な役割を果たしており、インプラント治療も例外ではありません。これらの要望に応え、紹介患者さんを増やし、難症例に対応できるように、近隣歯科医師会との連携を密にしたいと考えております。皆様のご協力、ご助言よろしくお願い申し上げます。

## 顎関節治療科

顎関節治療科科長 古屋良一



この度、歯科病院に新に開設される顎関節症科の科長を仰せつかりました歯科補綴学教室の古屋でございます。ご存じのように顎関節症症状を訴えて歯科病院へ来院あるいは紹介される患者さんの数は、ここ十年くらい前から増加しており、最近では新患の10~20%を占めるに至っております。そのような訳で、この時期に本科が開設されることは当を得たものと思われまます。従来、顎関節症の治療は主に口腔外科が当たっており、また、義歯、等による咬合異常が原因と考えられる症例は、補綴科の一部で治療を行っている状況でした。顎関節症は本来、多因子的疾患と考えられておりますので、従来のような各科、単独の対応では十分な治療効果を期待できない懸念がありました。今回、顎関節症の専門診療科ができることで、改善が期待できると思っております。皆様、本科を暖かく見守って下さい。

## 障害者歯科

障害者歯科科長 佐藤昌史



この度新設診療部門の1つである障害者歯科を担当させて頂くことになり、まことに光栄であるとともにその責任の重さを感じております。昭和大歯科病院では昭和52年の開設当初より、小児歯科において積極的に障害児の歯科治療と口腔管理を中心に行なってまいりました。その多くの方々は成人期を迎えられ対応すべき問題も多様化し、各専門分野からのチームアプローチの必要性和個々の障害者の状況に応じた無理のない継続管理の重要性を再認識している次第です。今後、特別な配慮を必要とする方を対象に歯科保健の側面から生活機能の向上に少しでも貢献できるように努力してまいりますので、さらなるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

オーストラリアのアデレード大学は、10年以上前から歯学教育でPBLを実践している世界でも指導的な大学です。既に本学からは後藤前学部長、岡野教育委員長ほかが訪れ、タウンゼント教授を本学にお迎えしてPBLの模擬授業（ワークショップ）を開催し、さらにテキストを翻訳して、昨年度の夏に三島で盛大にワークショップを開催したのは記憶に新しいところです。この度、新カリキュラムの選択実習（6年生）の交渉のためにアデレードを訪問し、大学と職業専門学校を視察してきました。

オーストラリアは英国圏で社会保障の先進国です。歯科医師の数は非常に少ないが、Dental Therapists（18歳までの簡単な歯科治療ができる）、Dental Hygienists（歯科衛生士）、Dental Technicians（歯科技工士）、Dental Assistants（歯科助手）のチーム医療職を、職業専門学校であるTEFEというCollegeで実践的に教育して、チーム医療を行っています。予防や口腔ケアの比重が大きく、衛生士が非常に活躍しています。

アデレード大学の歯学部は医学部とFaculty of Health Scienceを構成し、Bachelor of Dental Surgery(5年制)で歯科医師の養成をしています。1学年約50名の学生が学んでいます。本学の新しいカリキュラムのように大きなコースに括ってカリキュラムを作成し、PBLを導入しているだけでなく、低学年から段階的に臨床実習を行っているのが特徴です。専任の教員は約20名と非常に少なく、臨床実習には多くの非常勤歯科医師を活用しています。今回、歯科病院内の専用クリニックで学生が診療しているのを見学できました。また、アデレード大学では他大学に先駆けて、3年制のBachelor of Oral Health を開設し、HygienistとTherapistの資格が取れます。こちらの学生も歯科病院内の専用クリニックで診療に参加していました。

オーストラリアの歯科病院は主として低所得層や年金生活者のサービスを行っていますが、歯科病院のなかに口腔ケア用品で有名なColgate社の資金援助によるColgate Australian Clinical Dental Research Centerがあり、新しい器材の臨床試験、ポストグラジュエートセミナー、そしてシーメンスの最新設備を擁するPrivate Clinicが開設されていました。

学生の1割程度は留学生です。オーストラリアは環太平洋の中心として、ベトナム、マレーシアほかの東南アジア、太平洋の島国など広い経済圏を持っています。オーストラリア人も先祖が多様な国から構成されていて、近年の移民を含めてコスモポリタン国家と言えます。

本学からの学生受け入れについては、担当のLindsay Richards副学部長との間で基本的に了承され、以下の点で合意しました。歯科病院内の臨床実習用クリニックのほか地域の保健所における臨床実習への参加ができます。期間は最低で1ヶ月。最長3ヶ月。学生寮の使用可能。授業料は無料。英語に関しては英国圏の認定試験であるIELTSで6点以上が望ましいです。（これは日本で受験できます。）

平成19年の正式実施に向けて、来年度以降トライアルをして、正式な交換プログラムを調印する予定です。今回、歯科病院の歯科衛生士2名も視察に参加しました。今年から本学の歯科病院に「お口の健康外来」が開設されましたが、今後歯科衛生士間の交流を行い、「お口の健康外来」の強化を図るとともに、歯科衛生士と高度なチーム医療のできる歯科医師養成に務めたいと思います。

この夏には口腔解剖学教室の近藤講師が短期留学の予定です。また、タウンゼント教授が10月の歯科医学会総会に招待されているので、日程調整ができれば本学で講演をお願いする予定です。PBLのシナリオ作成のエキスパートであるTracey Winning講師を招聘して、セミナー開催も今年度中に企画しています。岡野教育委員長の報告によると、先日新潟で開催された歯科医学教育学会において、本学のPBLに対する他大学の関心が高かったようです。学生の選択実習だけでなく、本学におけるPBLの定着のためにも、アデレード大学と学部を挙げて一層の交流を深めてゆきましょう。



Lindsay Richards 教授(副学部長)と



学生の臨床実習風景

## 第10回昭和大学医学教育者のためのワークショップ

広報委員長 佐藤裕二

7月26～28日、富士吉田校舎で58名の参加者により開催されました。歯学部からは、タスクフォースとして宮崎学部長、久光教授、ビギナーコース（カリキュラムプランニング）に榎教授、アドバンスコース（PBL）に中村PBL委員長、アドバンスコース（大学院の理念）に立川研究科運営委員会委員長、佐藤副委員長が参加しました。PBLでは、先行している歯学部がリーダーシップをとり、全学的な実施のプランを作成しました。大学院の理念は原案が作られ、教授会・理事会へ提出されることとなりました。涼しい環境の中で、他学部との交流もあり、有意義な3日間でした。



## 歯学研究科社会人特別選抜開設

大学院運営委員会委員長 立川哲彦

	試験日	出願期間	合格発表	入学手続	入学辞退締切
期	平成16年 9月25日(土)	平成16年7月12日 ～ 9月10日	平成16年 10月21日(木)正午	平成16年10月22日 ～ 10月29日	平成16年 10月26日(金)
期	平成17年 2月19日(土)	平成17年1月6日 ～ 2月10日	平成17 年 3月 9日(木)正午	平成17年 3月10日 ～ 3月17日	平成17 年 3月31日(木)

今回より従来の一般選抜の他に、社会人特別選抜が設定されました。これは社会人（研修医を含む）が夜間、土曜日、夏休みに教育を受け、学位取得を目指すものです。語学試験も同時に行われます。詳細につきましては、教務部にお問い合わせください。

## 診療統計(平成16年6月分)

歯科病院長 川和忠治

区分	患者数	1日平均	前月1日平均	前年同月1日平均
外来患者延数	17,552	731.3	676.4	698.3
新患延数	1,179	49.1	48.6	50.0

## 教職員の声

広報委員長 佐藤裕二

- ・乳幼児のオムツを替えるところがありません  
7月1日より来年3月末まで、改修工事が実施されます。この改修工事作業の一環に乳幼児のオムツ交換場所増設として組み入れたいと思います。（歯科病院長）
- ・1階の車椅子用のトイレが狭くて使いにくいと思います  
当院の車椅子用トイレの現状を見直し、使い易いトイレに改修したいと思います。但し、高額な工事費用が見込まれますので、即時に工事に着手できません。懸案事項として次年度に予算計上したいと思います。なお、現在の手洗いを早急に自動方式に切り換えるようにいたたく考えております。（歯科病院長）
- ・駐車場の代金の病院負担とタクシー会社直通電話の設置を希望します  
現在、入庫から最初の30分間は無料扱いです。当院は、電車やバス等の公共交通機関の利便性に富んでおり、また駐車台数が少ないため、公共交通機関でのご来院を積極的にお願いしています。また、タクシー会社との直通電話機設置ですが、近隣タクシー会社と何度か交渉を重ねましたが、設置費用・維持管理費用に見合う営業実績が望めないことを理由に断られました。当院側は今後もねばり強く交渉を続けます。（歯科病院長）

教職員の皆様からの声をお待ちしております。 [sato@senzoku.showa-u.ac.jp](mailto:sato@senzoku.showa-u.ac.jp)まで。

## 行事予定

- 8月 19日(木)～21日(土)：歯学教育者のためのワークショップ（三島）
- 9月 4日(土)：歯学部進学相談会（歯科病院）
- 9月 25日(土)：歯学研究科選抜試験（社会人特別選抜を含む）・語学試験
- 9月 25日(土)：D5 OSCEトライアル（歯科病院）



次号は8月31日発行予定です。記事をお寄せください。